

2011年3月13日(日曜日)

平成23年度当初予算

総額4,668億円

「景気対策を第一」とした予算を編成

2月定例県議会において、平成23年度当初予算が成立しました。一般会計の予算総額は4,667億9,400万円余で、昨年度の当初予算に比べ6.6%減少しています。

今回の予算では、4月に知事および県議会議員の選挙が行われるため、新たな政策に関する事業や、内容を大幅に見直す事業については、原則として、選挙後の補正予算で対応することとしました。

ただし、(1)依然として厳しい経済情勢に対応する「経済・雇用対策」、(2)国の制度改革への対応、(3)教育、医療福祉等の県民生活に密接に関わる事業、(4)時期を逸することなく対応すべき事業については、円滑な事業の実施に支障のないよう、年度当初から積極的に予算を計上しました。

予算の概要

23年度当初予算のポイント

- ・ 新年度の一般会計の規模は、4,668億円 で対前年度比6.6%の減
- ・ 当初予算と平成22年度2月補正予算を 一体として編成
- ・ 事業規模990億円(予算総額334億円) の経済・雇用対策を実施
- ・ 歳入は県税収入が56億円増の861億円、 地方交付税が90億円増の1,256億円

予算の規模

会計区分	23年度当初予算	対前年度比 (22年度当初)
一般会計	4,667億9,437万円	△6.6%
特別会計	140億9,394万円	+16.4%
企業会計	281億7,412万円	△1.8%
合計	5,090億6,243万円	△5.8%

主な事業

経済・雇用対策

「中小企業対策」、「県内経済の活性化」、「県民生活の安心確保」および「雇用対策」の4つの視点から、経済・雇用対策を重点的に実施します。

中小企業対策

○前年と同規模のセーフティネット資金の融資枠を確保

セーフティネット資金の融資枠を前年度と同じ560億円確保し、中小企業の資金繰りに支障が生じないよう、万全を期します。
また、小規模事業者向けに、マル経資金の借入れ(融資枠50億円)に対する利子補給を継続して実施します。

○新製品開発や販路開拓支援を通じて、成長分野への展開を後押し

新たな成長分野に挑戦する中小企業を応援するため、建設業やものづくり中小企業等が行う新製品の開発や販路開拓に対して支援します。

県内経済の活性化

○県単独公共事業を追加実施

建設業を取り巻く環境が依然として厳しいことから、国の地域活性化交付金(きめ細かな交付金)を活用して、14億円の県単独事業を上積

みしました。具体的には、道路、河川等の安全対策や農業用排水路の補修など、長寿命化対策を前倒しするとともに、早期発注に努め、県内経済の活性化につなげます。

○里山の景観再生や住宅への県産材活用を新たに支援

里山の枯損木などを伐採し景観再生を図ります。また、県産材の利用を拡大するため、住宅を新築する場合に、県産材(柱材等)を直接提供します。

○住宅の省エネルギー等への支援により 環境投資を促進

利用希望が多い太陽光発電設備の設置助成を継続するほか、窓の断熱化など、住宅の省エネルギーについては、補助対象件数を250件に拡大し、一般住宅の環境投資を促進します。



歩道橋の塗装

県民生活の安心確保

○弱者対策や知の地域づくりを推進

国の地域活性化交付金(住民生活に光をそそぐ交付金)を活用し、消費者対策やDV対策等の弱者対策を強化するとともに、学校図書の充実等を通じて知の地域づくりを推進します。

また、県立特別支援学校の普通教室に冷房設備を整備するほか、県立・私立高校の学校図書や県立図書館内のふるさと図書コーナーの充実を図ります。

○学校など県有施設をはじめ施設の耐震化を引き続き推進

一般住宅、学校、福祉施設、病院等において、施設の耐震化を引き続き促進します。

○ワクチン接種や新しい公共活動支援のための新たな基金を設置

新たに「ワクチン接種緊急促進基金」を設置し、子宮頸がん予防ワクチンなどの接種費用を助成します。

また、「新しい公共支援基金」を設置し、民間団体等が行う公的サービスの提供を支援します。現在、ニーズ調査を行っており、具体的な支援については今後の補正予算で対応します。

雇用対策

○雇用基金を活用して年間3,200人の雇用を創出

平成20年度に雇用基金を設置して以来、延べ6,715人(23年2月末現在)の雇用を創出し、有効求人倍率全国1位に貢献しています。新年度でも雇用基金を活用して53億円の予算を計上し、介護や農林水産業の分野などで、年間で3,200人の雇用を創出します。

○新規学卒者に対し、きめ細かな就職支援を実施

今後も厳しい環境が続く新規学卒者には、引き続き、就職支援コーディネーターの配置や緊急就職説明会の開催など、きめ細かな就職支援活動を展開します。



緊急就職面接会

福井新元気宣言の実現

「福井新元気宣言」に掲げた各分野の施策を推進し、県民の暮らしの質の向上につなげます。特に「学力日本一」など、本県の教育環境の更なる向上や、ブランドの発信の強化に努めます。

国の制度改正に対応する事業 （「元氣な産業」関係）

○国の戸別所得補償制度に合わせて飼料用米の生産を拡大

国の農業者戸別所得補償制度の本格実施により、飼料用米の作付農家に対して1反当たり8万円が交付されることから、新規作付に必要な環境整備や流通経費に助成し、作物が栽培されていない水田への飼料用米の作付を促進します。

○地域住民による農地・水保全活動と環境保全型農業の更なる推進

地域住民による農地や農業用水の保全活動を支援するほか、農家が行う環境保全型農業の営農活動を支援し、農薬等を低減するエコ農業を推進します。

○拡大する鳥獣被害に対して対策を強化

イノシシ、シカ等による農産物被害が発生している集落に対し、金網柵、ネット柵、電気柵の設置を支援します。特に、金網柵については、整備延長を大幅に拡大します。また、捕獲対策でも捕獲頭数を前年度より増やし、支援策を拡充します。



勝山市鹿谷町に設置されたネット柵

教育、医療福祉など、県民生活に密接に関わる事業 （「元気な社会」関係）

○「元気福井っ子新笑顔プラン」に基づき、本県独自の少人数学級を推進

中学校2、3年生を33人から32人学級とします。また、小学校1年生について、国の学級編制基準の見直しに対応し、新年度から35人学級とし、30人を超える学級に対しては、引き続き、県独自に非常勤講師を配置します。

○不登校対策を充実し、児童生徒や家庭の相談体制を強化

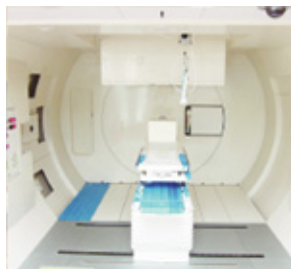
いじめ、不登校等の問題にきめ細かく対応するため、カウンセラーを増員し、学校および家庭における相談体制の充実を図ります。さらに、不登校等の児童生徒の「家庭」へ働きかけを行うスクールソーシャルワーカーを増員し、全市町に対応します。



本県独自の少人数学級

○陽子線がん治療センターでの治療を開始

日本海側で唯一の施設である陽子線がん治療センターが3月7日にオープン。全国で最も経済的負担が少なく治療を受けることができるよう、治療費助成などの支援を行います。



治療室内部

時機を逸することなく対応すべき事業 （「元気な県土」「元気な県政」関係）

○中部縦貫自動車道の整備促進

中部縦貫自動車道については、永平寺大野道路（勝山・大野間）の平成24年度開通に向け工事の進捗を図るとともに、福井北・松岡間は平成26年度の開通予定にあわせ、整備促進に積極的に協力していきます。

○日本海側拠点港に向け敦賀港の貨物取扱量を拡大

敦賀港については、今年夏頃に行われる日本海側拠点港の選定に向け、多目的ターミナルの基盤整備を進める一方、新規航路開設や県内企業の敦賀港利用拡大に向けて支援策を強化します。



整備が進む中部縦貫自動車道

○「江～姫たちの戦国～」と連携した福井の魅力発信と観光誘客を推進

今年1月から、NHK大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」が放映され、三姉妹ゆかりの史跡等が数多くある、本県の魅力ある観光資源を全国に発信します。関係市町等と連携し、戦国時代をテーマとしたイベントを展開するなど、全县を挙げて福井の魅力をアピールします。県内のゆかりの地は右の紙面のとおりです。ぜひお出かけ下さい。

○ふくいの自然再生に向け、コウノトリの放鳥実験を開始

コウノトリをふくいの自然再生のシンボルとし、兵庫県のコウノトリの郷公園から幼鳥を譲り受け、昨年末に餌場を整備した越前市白山地区で放鳥を行い、本県での定着を目指します。

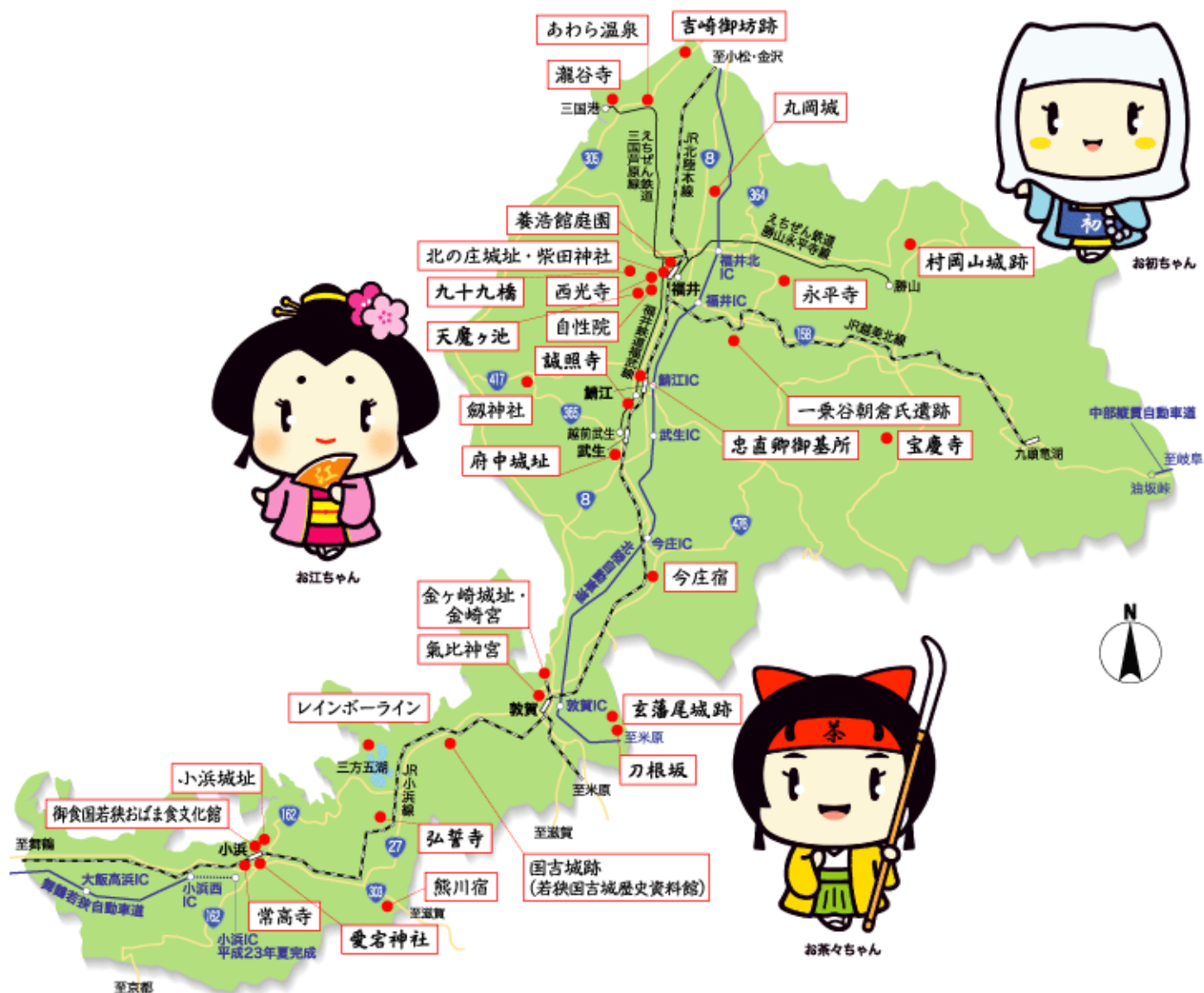


詳しい内容は、県のホームページに掲載されていますので、ご覧ください。

問い合わせ先：福井県総務部財務企画課 0776(20)0234

大河ドラマ「江」のゆかり福井県

福井は、「江」たち三姉妹が少女時代に、父「柴田勝家」と母「お市の方」と過ごした思い出深い土地です。
三姉妹と関わりのある名所旧跡を訪ねてみてはいかがでしょうか。



自性院

福井市西木田2-10-21
◎拝観自由
◎お問合せ:0776-35-1775



瀧谷寺

坂井市三国町瀧谷1-7-151
◎拝観時間:8時～17時 ※(11/1～2/末)8時～16時半 ◎無休 ◎拝観料:大人300円
◎お問合せ:0776-82-0126

西光寺

福井市左内町8-21
◎拝観自由◎お問合せ:0776-36-1528※柴田勝家公資料館は12時～16時(要連絡)
◎料金:大人300円



吉崎御坊跡

あわら市吉崎1 ◎蓮如上人記念館
◎拝観時間:9時～16時 ◎拝観料:大人600円
◎お問合せ:0776-73-1221(あわら市役所観光商工課)

北の庄城址・柴田神社

福井市中央1-21-17
◎見学自由
◎お問合せ:0776-23-0849



丸岡城

坂井市丸岡町霞町1-59 ◎開館時間:8時半～17時
◎無休 ◎料金:大人300円
◎お問合せ:0776-66-0303(霞ヶ城公園管理事務所)



劔神社

越前町織田113-1
◎無休
◎拝観料:無料 ※宝物殿:300円
◎お問合せ:0778-36-0404



誠照寺

鯖江市本町3-2-38
◎拝観料:無料
◎お問合せ:0778-51-0139



一乗谷朝倉氏遺跡

福井市城戸ノ内町 ◎見学自由・復原町並9時～17時(入館は16時半まで) ◎無休(復原町並は年末年始休業) ◎料金:無料・復原町並210円 ◎お問合せ:0776-41-2330((社)朝倉氏遺跡保存協会)



小浜城址

小浜市城内1-7-55
◎見学自由
◎お問合せ:0770-52-1920(小浜神社)



宝慶寺

大野市宝慶寺1-2
◎拝観料:無料
◎お問合せ:0779-65-8833



常高寺

小浜市小浜浅間1
◎拝観時間:9時～17時
◎休業日要問合せ
◎拝観料:400円 ◎お問合せ:0770-53-2327



金ヶ崎城址・金崎宮

敦賀市金ヶ崎町1-1
◎見学自由
◎お問合せ:0770-22-0938(金崎宮社務所)、0770-21-8686(敦賀観光案内所)



弘誓寺

若狭町東黒田7-14
◎拝観料:無料
◎お問合せ:0770-45-1125



国吉城跡(若狭国吉城歴史資料館)

美浜町佐柿25-2 ◎開館時間:9時～17時(入館は16時半まで)(12/1～3/末)10時～16時半 ◎毎週月曜、年末年始休業 ※その他臨時休館あり ◎料金:大人100円 ◎お問合せ:0770-32-0050

お江ゆかりの地を巡る

越前エリア日帰りの旅

モデルコース

北陸自動車道 福井 IC	北の庄城址・柴田神社	西光寺	自性院
(15分)	柴田勝家により築城されたが、秀吉に攻められた際に落城。勝家は自ら火を放ち妻のお市の方とともに自害した。	(5分) 北の庄城主・柴田勝家の菩提寺。勝家とお市の方の墓石や柴田勝家公資料館などがある。	(3分) 天台宗の寺院。お市の方の菩提寺であり、お市の方の碑がたてられている。
養浩館庭園	丸岡城	瀧谷寺	あわら温泉
(8分) 福井藩主松平家の別邸。書院建築の広大な園池を主体とした回遊式林泉庭園は江戸中期を代表する名園の一つ。	(25分) 柴田勝家の甥、勝豊が築城。現存する天守閣としては日本最古であり国指定重要文化財。	(35分) 南北朝時代に創建された三国町最古の寺院。日本名勝庭園の一つ。	(10分)

若狭エリア日帰りの旅

モデルコース

舞鶴若狭自動車道 小浜西 IC	常高寺	小浜城址	御食国若狭おばま食文化館
(15分)	お江の姉であり、3姉妹の次女として生まれたお初の発願によって建立。お初の菩提寺。	(10分) お初の夫、京極高次が築城。明治4年に焼失し、現在は城郭の石垣を残すのみ。	(5分) 御食国として重要な役割を果たした若狭路の食の歴史や文化を展示。郷土料理や伝統工芸の体験もできる。
熊川宿	三方五湖レインボーライン	金ヶ崎城址・金崎宮	北陸自動車道 敦賀 IC
(8分) 室町～江戸時代にかけて京都・若狭の文化交流接点として栄えた宿場町。織田信長も朝倉氏攻めの際、ここを通過した。	(25分) 美浜町・若狭町にかけて広がる有料道路。日本海や三方五湖の景観を眺めるドライブコースとして人気。	(35分) お市の方が、夫である浅井長政の裏切りを信長に知らせたという「小豆袋」の逸話が残る。	(10分)

展示会のお知らせ

NHK大河ドラマ特別展「江」

4月22日(金)～5月29日(日) 県立美術館

美しい高麗茶碗「青井戸茶碗 銘 柴田」をはじめ、遺品や書簡など「江」ゆかりの資料を数多く展示。皆さまのご来館をお待ちしています。柴田勝家の名を冠した重要文化財、青井戸茶碗が福井に初登場(東京:根津美術館蔵)。

テーマ展「戦国三姉妹 初 初の眠る若狭小浜」

4月9日(土)～5月8日(日) 県立若狭歴史民俗資料館



大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」
福井県推進協議会ロゴ・キャラクター

※このほかにも「お江」関連のいろいろなイベントがあります。お問い合わせのうえ、ぜひお出かけ下さい。



江のゆかり 福井県

Google 検索

お問合せ先

大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」福井県推進協議会事務局(県ブランド営業課内)TEL0776(20)0227

BACK